（別紙4（2））

事業所名 ： グループホームさわふじ

作成日 ： 平成 23 年 2 月 10 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	**○チームで作る介護計画とモニタリング**	①定期的（3ヶ月に1回）なサービス担当者会議の開催。 ②職員間のケースカンファレンスの充実ができる。	①サービス担当者会議の開催。 ②ケースカンファレンス毎週1回開催する。	6ヶ月
2	35	**○災害対策** 火災や地震、水害時に利用者が安全に避難出来るよう細かいマニュアル見直しが必要。また、夜間想定の訓練を実施がされていない。地域との協力体制も必要。	①安全・安心して生活ができる。 ②職員が、避難方法を身につける。 ③近隣の協力が得られるよう体制を作る。	①細かい部分のマニュアルを見直し作成する。避難訓練を実際に行う。 ②近隣住民、行政を巻き込み行ってみる。 ③運営推進委員の意見や協力を得る。 ④入居者ご家族との協力体制を強化する。 ⑤職員が災害を常に意識するようにする。周知徹底する。 ⑥昼間想定と夜間想定の訓練実施を行う。	12ヶ月
3	33	**○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援。** 重度化、終末期ケアへの体制が整っていない。	①看取り支援に向けて段階を踏む。 ②職員の意識、技量が向上できる。 ③看取り指針の作成ができる。 ④入居者、ご家族が安心してホームの利用ができる。	①医師や看護師と共に、勉強会や交流会を行い、終末期に向けての意識や知識を高める。 ②ご家族と終末期に向けての認識を近づける。ケアプランを活用する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。